

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 児童育成クラブについて 私は平成30年1月に開催された「市長とドンドン語ろう in秋津」にて、児童育成クラブの時間帯と受入学年の拡大について提案したところ、市長は「このことは必要、もう教育委員会に指示を出している」と回答された。 しかし今現在、秋津小の児童育成クラブは4年生以上を受け入れていない。平成30年11月に教育委員会に要望書を提出し状況を伺ったが、相変わらず場所はない、指導員がいない、予算がないということを経由に進展がない。また秋津小学校の校長先生に空き教室の利用について伺ったが、何かあったら責任を負えない、セキュリティの問題があるとのことで、まったく実現に向けて動いていなかった。まずは秋津小で4年生以上の受入にどれくらいのニーズがあるのか調査をしてほしい。まずは子どもの命を最優先に考えて、実現に向けて早急に対応をお願いする。</p>	<p>〔市長〕 まず児童育成クラブについては、以前もご意見をいただき、現状も含めて報告を聞いているが、例えば、支援員の資格の問題や質の問題など非常に課題が多い。実務研修も必要であるし、例えば発達障害があるお子さんに対しては専門的知識が必要であるなど、個別の対応も充実していかなければいけない。時間の延長や受入学年の拡大の要望も他からもいただいているため、今度、私も児童育成クラブを視察に行こうと思っており、いただいたご意見を含めて、総合的に考えていきたい。 ただ、人手不足の問題は深刻であり、担い手がないことには全体的に拡充することは簡単ではないが、担い手確保に向けて努力をしていることはご理解をいただきたい。スペースの問題については、学校とも話しながら、できるだけ幅広く受け入れたいと私も思っている。 熊本市の児童育成クラブについては3年生までではあるが、待機児童はゼロであり、やりくりしている現状もご理解いただきたい。 子どもの安全については、不審者のことも含めて他都市とも情報共有している。教育委員会、市民局、区役所で連携して地域での見守りなどをしっかりやっていく。</p> <p>〔教育次長〕 本市の児童育成クラブは、小学3年生までは希望者全員を受け入れている。4年生以上は一人当たりの活動スペース等を数値化して、条件が揃えば6年生まで受け入れている学校もある。なるべく多くの子どもたちの受入を進めているところだが、支援員の雇用が追い付かない状況。希望者をすべて受け入れても、子どもが安全に過ごす場所の確保ができるかという問題もある。国の基準である1.65㎡/人を満たしていないクラブが32クラブあり、そういう施設整備をまず進めていかなければならない。 今のご意見については、秋津小で個別に条件を考えるなど引き続き取り組んでいく。</p>	教育委員会 事務局	青少年教育課
	<p>(2) 市長への手紙について 児童育成クラブのことについて「市長への手紙」として広聴課へ市長宛にメールをしているが、返事がない。つい先ほど教育委員会の方から説明があったが、市長への手紙として送ったメールは市長へは渡っておらず、教育委員会へ戻っているとのこと。市長への手紙は、市長へ届く前に担当課へ回るシステムであれば、この制度は意味がないのではないか。</p>	<p>〔市長〕 市長への手紙については、もちろん私のところに一旦届いている。ただ項目が多岐に渡り、件数も多いので、まずは現場でどういう対応をしているかということを確認するために担当課へ戻している。その後、どう対応しているのかを確認したうえで、最終的には私が文書を全部見たうえでお返ししている。時間が掛かることについては、そういうプロセスを踏んでいるということをご理解いただきたい。</p>	政策局	広聴課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 小学校のトイレの洋式化について                      大江小学校の校舎は古く、和式トイレがほとんど。運動会の際にも、トイレに行列ができていたが、洋式トイレの数が限られており、そこに高齢者が並び、和式トイレは空いている状態であった。避難所でもあるので早急に洋式化を進めていただきたい。</p>	<p>〔市長〕                      トイレの洋式化については、避難所環境として考えれば非常に重要であり、取組を進めているところ。学校にもよるが、いただいたご要望を受け止めさせていただく。</p>	教育委員会 事務局	施設課
2	<p>(2) 学用品の負担軽減について①                      学用品の購入費用について、ぜひ保護者の負担を軽減していただきたい。                      一例を上げれば、福岡市では制服が標準服になり、今までは詰襟、セーラー服であったのが、これからはブレザーに変わる。一般的にブレザーに変わると値段が上がるが、値段を抑えることができたとのこと。なぜかという、一律標準服にすると大量に作れるので、メーカーとしてもコストを抑えることができるからである。また、ブレザーにおいては性的マイノリティに配慮するなど、先進的な取組をしている。                      熊本市においても、制服のみならず、体操服、通学靴、グラウンドシューズ、体育館シューズ、上履き、通学カバンといった多数の指定品を市内共通のものにすれば、メーカーとしてもコストを抑えられるし、在庫のリスクも軽減でき、保護者の負担軽減につながると思う。                      そうした、業者間でも適正な競争原理が働く仕組みを市長のリーダーシップの下実現していただきたい。</p>	<p>〔市長〕                      学用品の負担軽減については、今までも指針はあったが、教育委員会が決めているわけではなく、各学校で検討委員会を設置して決めている。                      例えば、大江小は制服はなく私服であるなど、学校により状況が違うので、各学校の検討委員会でもそういった声を上げていただくことが重要だと思う。                      市内一律全部同じ制服にすることがいいかどうかは別として、経費を抑える、コストを下げることは重要なこと。学用品の負担軽減というテーマについては、私の方から教育長や教育委員会に話をさせていただく。</p> <p>-----                      【教育政策課 追記】                      これまで、学校における学用品については、保護者の経済的負担の軽減と業者選定の透明性や公平性を図ることを目的に「学校指定物品に関する指針」を定めて取り組んできた。                      この度、令和元年（2019年）9月に、更なる保護者の経済的負担の軽減を図るために、同指針の改正を行った。内容としては、学校での検討委員会では保護者や地域の方など様々な立場の方からの意見を伺い、指定しようとする物品が特定の商品や業者とならないような仕様とするよう努めるとともに、保護者が複数の業者から自由に選択して購入できる環境づくりを進めるというものである。</p>	教育委員会 事務局	教育政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>■高齢者向けの講座について 認知症の人が多いいというが、私が考えるに、体を動かしたり、人と会話をしたりしないから認知症になるのではないかと。私も認知症にならないように、毎日歩いたり、出かけたり、人との会話をしている。</p> <p>熊本市でも、外国語や趣味、歌など高齢者対象の講座があったが、以前全部カットされた。子どもの教育を優先するため高齢者の講座は全部カットするという、市からの説明であったと記憶している。</p> <p>高齢者向けの講座を設けていただければ、横のつながりもできし、海外旅行をするときはちょっとした会話もできたりすると思う。</p>	<p>〔市長〕 子どもの教育が重要だから高齢者の講座を減らすということはない。恐らくどこかで歪曲して伝わっているのではないかと思う。これまでもこれからもそういうことはない。</p> <p>当然、何を優先するかといったことはあるので、その点のご理解いただきたいが、高齢者向けの生涯学習の場というのは重要になってくると思うので、今後も議論していく。</p> <p>-----</p> <p>【生涯学習課 追記】 生涯学習出前講座では、「高齢者の交通安全」「年金出前講座」など的高齢者対象のメニューも用意し、市民の学習活動を支援している。</p> <p>また、公設公民館では、市民からの申請を受けて838の自主講座が開設されており、講座内容は、趣味やけいこごと等、多岐にわたっている。講座は年齢制限はなく、どなたでも受講できるようになっている。</p> <p>今後も多くの高齢者の方に講座を受講していただきたいと考えている。</p>	市民局	生涯学習課
	<p>（1）保育施設等への助成金について 教育については、以前市長は待機児童はゼロだと言っており、これは日本の中でも一番ということであったが、熊本市の保育園、幼稚園は、ほとんどが民間の認可施設や無認可施設に頼りきっていて、ほとんど助成金が出されていないのが現状。</p> <p>一人の子どもをどれくらいの費用で保育できるのかというのは、各地のサービスの保育単価を調べればすぐ分かることだが、私が30年前、子育ての現役であった頃に、一人だいたい一月7万5千円くらいかかる。そういう点からいうと、市は助成にあまり力を入れていないのではないかと思う。</p>	<p>【保育幼稚園課 追記】 認可保育所等については、児童の安全確保の観点から改築整備費用や保育士資格取得のための費用、園運営のための人件費・事業費等の支給を行っており、円滑な保育所等の運営に寄与している。</p> <p>また、認可外保育施設においても園児・職員の健康診断や賠償責任保険掛金等にかかる費用を助成しており、施設の費用負担軽減を図っている。</p>	健康福祉局	保育幼稚園課
4	<p>（2）公民館について 社会教育の立場から話をすると、公民館いわゆる共同利用施設が非常に少ない。また、そういった共同利用施設を作る場合、地域の人たちがお金を出し合ったものを、市に寄付して運営していくやり方になっていると思う。こういったことにも行政はもう少し力を入れて、できれば自前で共同利用施設を作ってほしい。</p> <p>また、公民館を利用する場合、社会教育法23条で、政治、宗教、営利から独立した使用方法に限られると規定されているということで、公民館利用規定においてはそういうことを一切認めていない。</p> <p>ところが、その法規定は公民館が主体的に実施するのはダメという意味で、公民館をどう利用するかは地域に任せられているのが正しいと思う。基本的人権として、政治、宗教、物品活動等は自由なので、それを保障するのがむしろ正しいやり方。熊本市の場合は公民館でそういう行為を一切認めないし、そういう規定をなさないと指示しているようなので、それは改めていただきたい。</p>	<p>〔市長〕 公民館等を皆さんが使いやすくすることは非常に重要。また、一部の声では、講座の種類を増やしてほしいという話も出ている。それから公設公民館と地域公民館は、当然それぞれの地域の歴史で違うので、そういうことも含めて総合的に検討していく。</p> <p>-----</p> <p>【地域活動推進課 追記】 公民館には、熊本市が設置し、管理・運営する公設公民館と、地域が設置し、管理・運営する地域公民館とがある。</p> <p>公設公民館については、社会教育法上、利用について制限等があるが、地域公民館については、地域住民の了承を得て利用規約等が作成されており、熊本市が利用について制限等を行うことはないので、ご理解いただきたい。</p>	市民局	地域活動推進課  生涯学習課

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>(1) ICT教育について ICT教育について、保護者が不安に思っているのは、セキュリティの問題や、インターネットの悪影響の部分だが、私たちは知識がないので、子どもたちがどういう教育を受けているのか、子どもを通してしか情報がない。新しい教育について、保護者向けの説明会や周知等、学校単位で分かりやすく教えていただきたい。 それと、家庭でも子どもの方が情報があって、ゲーム等にすごく熱中してやっているの、そういうことがとても心配である。</p>	<p>〔市長〕 SNSやインターネットの不適切な画像等、リスクをどう教えていくのかということも教育。タブレットについては、学校教材として使っていくので、イメージビデオ等を保護者の皆さんにご覧いただくなどして教育委員会のほうから説明ができればと思う。 それとやはり、保護者がどうやって子どもたちを危険に触れさせないかも課題。トラブルが起きやすいことを教えていくことが重要。メールでのやりとりは文字だけなので、一番感情が伝わりにくい。本当は顔を合わせて話をするのが対話の基本だと思う。こうして話をしていると、手紙などをいただくよりも、表情を見ながらお話しの方が伝わりやすく、お互いに理解が深まりやすい。そういうことが大事なんだと思う。その上で、様々なツールを使いながら、トラブルに巻き込まれず交流をしていくことが、いろいろな広がりにも繋がる。そういうコミュニケーション能力を高めていくことが、これからの学校教育では重要である。</p> <p>〔教育次長〕 タブレットの使い方については、具体的に各学校で活用していく中で、まずはモデル校を作って、そこでどういう授業ができるか、どういうリスクがあるのか、「ひな型」を作り、確実に検証していく必要がある。この近隣では西原中が研究発表の対象となっているので、例えばタブレットの持ち帰りについても、学校で制限を設けた事例などを発表していく。当然、子どもたちの意思表示を電子黒板に写し出したり、提示能力を上げることも可能だが、ご指摘の通り、ネット上でゲームをずっとするのはないか、不適切なサイトに入るのではないかと不安が解消できるように、学校側がどのような制限を掛けたかなどの説明を行っていく。</p> <p>----- 【教育情報室 追記】 セキュリティやインターネットに関する情報モラルに関しては、その危険性や正しいコミュニケーションのあり方について教育委員会の指導主事等が学校に出向いて親子一緒に研修を行うなど、今後も要請に応じ保護者の皆様に分かりやすく説明していく。 また、タブレット端末を活用した授業については、モデル校での検証を進めるとともに、授業参観や学級懇談会を通してご理解いただけるよう努めていく。</p>	教育委員会 事務局	教育センター 教育情報室
	<p>(2) 小学校のトイレについて トイレ問題について子どもに尋ねると、校舎が古く、トイレがとても臭いためトイレに行くのが嫌だとのこと。毎日臭いトイレの前を通らなくてはいけないとも言っている。小学生なので掃除をするのにも限界があり、臭い問題は子どもたちだけでは解決できない。</p>	<p>〔教育次長〕 トイレの床は、水で流すため臭いがでるので、トイレの床の改修も含めてトイレの洋式化を検討している。ただし洋式化すると一つの当たりの面積が広がるので、例えば10個あったトイレが6～7個になってしまうため、子どもたちの利用頻度も含めて検討する。また、避難所になったときに備えて体育館のトイレの洋式化も含めて検討している。</p>	教育委員会 事務局	施設課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(3) 学用品の負担軽減について②</p> <p>学用品の保護者の負担軽減については、私も学校ごとの指定物品における負担軽減のために価格を安くしてほしいという要望を出しており、検討会も開かれているが、それが機能していない。保護者も参加しているが、校長先生たちも、なぜ検討が必要なのか理解していないように思う。</p> <p>ぜひ市長がリーダーシップを取っていただき、私たち保護者の負担が軽くなるよう、学用品の値段を下げてもらえるような検討会になるよう、ご協力をお願いしたい。</p>	<p>〔教育次長〕</p> <p>学用品については、学校が一方向的に業者を決めているのではないかといいた不満を解消するためにも、学用品検討委員会に必ず保護者の方にも入ってもらい、きちんと情報を公開しながら検討している。できれば子どもにも入ってもらおうともっといい。そういう費用負担の面からも検討委員会を開いている。</p>	教育委員会 事務局	教育政策課
6	<p>■健康ポイントの用途について</p> <p>貯まった健康ポイントを何に使いたいかということだが、健康とは関係ないが、有料ごみ袋とポイントを交換してもらえたらいいと思う。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>ごみ袋は素晴らしいアイデア。例えば、できるだけいろいろな取組をすることで健康ポイントが貯まり、ごみ袋と交換できるといったことができないか考えてみる。</p>	健康福祉局	健康づくり推進課
7	<p>■医療従事者による病気予防について</p> <p>私は理学療法士で、もともと病院に勤務していたが、どうしても未病の状態、つまり健康でもなく病気でもない状態の方が多く、そうした方々はなかなか適切な治療を受けられないという現状がある。そのため予防に力を入れた方が良く、今は病院から離れて働いている。</p> <p>健康ポイントについて思うことは、私が働く中でお客様の話を聞くと、自分で運動しようとしても、結局何をしたいか分からない、そもそも自分の体の状態が分からないという声を耳にする。ウォーキングや自己健康チェックもいいが、もう少し医療従事者が各地域に出向いて、一人一人の身体をチェックするとか、そういうイベントをたくさん行った方が、より現実的ではないかと思う。自分自身も未病リハビリテーション協会という、予防に特化した協会を設立して活動しているが、力不足で皆様のところに届いていない状況なので、市の方でバックアップしていただければ自分たちも力添えできると思うので、ご検討いただきたい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>健康でも病気でもない未病の状態の方は不定愁訴ともいうが、調子が悪いが原因が分からず、いろんな不安を抱えている方がいる。</p> <p>まず自分の身体がどういう状態か適切に知るという意味では、健康教室やおでかけ検診のような所に行かないと、医療関係者や専門の方々の健康チェックやアドバイスを受けられないと思う。そういう所でチェックを受けられて、安心できることが大事。</p> <p>膝の痛みで大きな病院に行って、何時間も待って、高い医療費を払うということではなく、例えば近くのクリニックとか、あるいはその前の段階で済むのであれば、それに越したことはないと思う。</p> <p>未病リハビリテーション協会のことは初めて知ったが、情報共有させていただき、この健康ポイント制度についてのアイデアをいただければと思う。</p>	健康福祉局	健康づくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>■病院での診察について</p> <p>私も40.50代となり、だんだんと体に異常を感じるようになったが、病院に行くと聴診器一つ当てずに「血液検査しましょう」と言われる。顔色を見ても分からないようで、とにかくまずは検査をすると。それでは病気にならないとわからないじゃないかと病院の先生に言ったことがある。</p> <p>そうしたらある小さな医療院を看護師が紹介してくれた。そこに行ったら昔ながらに聴診器を当てて、舌を診て、口の中の様子をカメラで収めて、といった診察を受けた。</p> <p>そういう診察に特化した素晴らしい先生が育っている一方で、聴診器をあてて診察することもなく、検査しなければわからない先生が多いことが残念である。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>専門の高度医療も非常に重要であるが、どこが悪いか分からない人を専門に診る先生も増えているので、そういったところも医療関係に話をさせていただければと思う。</p>	健康福祉局	医療政策課
9	<p>■健康ポイントについて①</p> <p>私は仕事をしながら熊本城マラソンに8回申し込みして、2度落選した。ただ、8年間という長期スパンで考えた時、子育て、仕事をしながらとなると、朝と夜しか走ることができない。そういう人は熊本城マラソンに出たら、気軽にいられる人よりもポイントの配分が高いというようなメリットがあれば励みになる。</p> <p>また、親子で参加できるとか、ファミリーやお孫さんと一緒に出場した場合はポイントが高いとか、差をつけると面白くなると思う。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>熊本城マラソンもそうだが、通常の市民サービスにおいてプラスがあるのはいいと思う。アイデアの一つとさせていただく。</p>	健康福祉局	健康づくり推進課
10	<p>■運動施設の復旧と健康ポイントについて</p> <p>私は以前心筋梗塞になって以来、17年間プールに通っており、浜線健康パークの常連である。この地震で2年ちょっと閉鎖しており憎々しく思っていた。市民の健康に関することには早く対応してほしい。それから、もっと運動施設のことを宣伝してほしい。利用する人が少ない。</p> <p>健康ポイントのことで言うと、お店のカードのポイントとか、インターネットサイトで使えるものなども考えてもらえたらと思う。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>できるだけ皆さんが利用される施設は早く復旧したいと思っている。また、利用促進にも取り組む。</p> <p>ポイントについても、電子マネーのような形でいろんなことに使えるので、他のポイントと交換などができるように検討していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【スポーツ振興課 追記】</p> <p>浜線健康パーク（田迎公園運動施設）のプールについては、平成30年4月3日に営業を再開しており、地震の被害が大きかった城南B&amp;G海洋センターや仮設住宅で使用中の施設を除き、全施設通常どおりの営業となっている。</p> <p>今後も施設の利用促進、サービスの向上を図るため、管理・運営の強化に努めていく。</p>	健康福祉局 経済観光局	健康づくり推進課 スポーツ振興課

「市長とドンドン語ろう！」 令和元年（2019年）6月2日 東区 東部公民館 意見交換内容 参加者：61名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>■健康ポイントについて②</p> <p>校区で民生委員をしている。高齢者、子育て世代対象の健康づくり教室やサロンを開催しているが、参加者はすべて女性。つい先日、校区のささえりあ主催の脳トレ体操が開催されたが、そこに参加した50名のうち、男性は私を入れて3名であった。</p> <p>今回の市の施策の中で、健康ポイントを検討する際には、男性が参加しやすいメニューや、ポイントの使用方法をぜひ検討していただきたい。それを我々に地域で活用させていただきたい。</p>	<p>〔健康福祉局長〕</p> <p>確かに、高齢男性の身近なところでのおでかけの機会は介護予防には重要だと思うので、いろいろな意見を頂きながら検討していきたい。</p>	健康福祉局   市民局	健康づくり推進課  高齢福祉課 生涯学習課
12	<p>■市組織の健全性について</p> <p>こうした市民との対話が基本。やはり耳に学び、目に学び直すことが重要。市の体制の、耳や目、五臓六腑は大丈夫なのか、このメンテナンスを行ってほしい。市長は血圧を測っているというが、私たちにとって一番大事なのはこの市の体制の五臓六腑。これをメンテナンスして市の組織を健全化してほしい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>市役所が皆さんのご意見をしっかり聞く耳を持つ、あるいはそうして受け止めたことに対してきちんとお答えを返す、お話をする、そして動くことが大事だというご意見だと思う。この一か月で「市長とドンドン語ろう」を5回開催しており、皆様からのご意見を政策や事業に反映させながら、まちづくりセンターや区役所を中心に頑張っている。市役所が健全であることが市民の皆さんの健康につながるというご意見だと受け止める。</p>	政策局  市民局	広聴課  地域政策課
13	<p>■都市バスの運行について</p> <p>都市バスの小峯線京塚線の終点が三山荘までであるが、それを小山戸島のもっと先まで走らせてほしいという要望がある。人口も増えており、高齢者も多いので、検討していただきたい。</p>	<p>〔都市建設局長〕</p> <p>ご要望があったことについては、都市バスに話はしておく。ただ、バス事業者においては運転手不足の中、バス路線を伸ばすとすると運転手の拘束時間も伸びることになり、厳しい状況であると思う。</p> <p>ただし、我々もバスの再編を事業者と一緒に検討しているので、そういった地域のニーズをきちんと把握しながらやっていければと思っている。</p> <p>また、そのまま路線を伸ばすことはできないかもしれないが、乗り換えの利便性向上の観点から、例えば三山荘や小峯に拠点を作って繋ぐなど、そういったことも含めて、どういう理想形がいいのかということも検討していきたい。</p>	都市建設局	交通政策課
14	<p>■公共交通機関の利便性について</p> <p>熊本地震後、福岡に避難していた身内が熊本市に帰ってきたのだが、区役所や他の行きたい場所にバスで出かける場合、交通センター経由となってしまい、遠回りになって以前より不便になったと言っている。</p> <p>今は交通渋滞が多く、市街地も国道3号も混雑しているため、利便性を考えて、ターミナルを区別したらいいと思う。現にバス路線がなくなっているのは採算が合わないのが一番の理由。お金を出せば、運転手の募集もできると思うし、利用者が多ければそれだけ利益が上がるので、若い人から高齢者まで多くの人に使ってもらうことが重要である。</p> <p>また、お年寄りから市電は人気があると聞いているが、その理由は170円で健軍から熊本駅まで行けるし、時間の予測ができるからだと思う。そういう意味では、市電の電停からバスに乗り継ぎができれば利便性が向上するのではないかと。</p> <p>とにかく多くの人が使わないことには採算が合わないと思う。要件先に分かりやすくいけるようになれば助かる。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>利用者がいるところにきちんとバスを走らせたり、例えば病院や公的施設、商業施設といった場所を結ぶことによって、皆さんが目的地に行きやすくなる。利用しやすい運行間隔はどのくらいなのかといった、運行時間や本数の問題もある。また、平日の昼間はバスの本数が多くても、日曜日は少ないため、車で出かけるなければならないといったこともあるので、そういうことも検討しなければいけない。</p> <p>現在そういう検討を行うために、バス会社5社それぞれが、経営統合の可否や人の配置を含め、どういう形で路線を再編したらよいか、検討しているところである。</p>	都市建設局	交通政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
15	<p>■ 渋滞対策について</p> <p>私が住む地域には、東バイパス、北バイパスがYの字に通っている。東バイパスは確か県内で交通量が一番多く7万台くらい通っており、そのすぐ横に西原小がある。東バイパスが渋滞するので、東バイパスから県道や生活道路に車が溢れており、小学生にとって非常に危険である。東バイパスは以前から渋滞が多いと言われており、十数年前の6車線化になって少しは改善されたが、あっという間にまた渋滞になった。</p> <p>もう一つは、立体交差化については昭和48年度に決定され、それから50年ほど経っているが、まったく進んでいない。立体交差化が一番効果があると思っている。5月に復興アドバイザーの最終提言があったと思うが、そのなかでも環状道路と立体交差との言葉がある。専門家も言っていることなので、効果は大きいと思う。</p> <p>国道なので国がやるべき話だが、西原校区にある熊本河川国道事務所から出ている資料を見ると、「対策が必要である」、「さまざまな整備形態を視野に入れて対策検討を推進する」と書いてあり、やるのかやらないのか分からない。</p> <p>ぜひ総合計画に具現化の話を入れてほしい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>東バイパスの渋滞が生活道路まで影響しているということは深刻な問題であると認識している。特に東部地域の渋滞は本当に激しい。これについて昭和48年度に立体交差化が計画されているが、遅々として進んでいない。実は先日期成会があり、私の方も「ぜひこれをもっと推進すべき」と話をしている。</p> <p>復興アドバイザー会議でも提言いただいたが、国の方とも、環状道路や幹線道路の立体化を進めるため、協議を始めている。熊本は震災のときにもものすごく渋滞して物資が運べなかったことで、道路の事情が非常に悪いと国でもかなり問題になっていた。しかも全国の政令市の商業地域の中で一番渋滞がひどいということは深刻に受け止めていただいているので、今後国、県と一緒に取り組んでいこうとしている。いただいたご意見も踏まえて、更に積極的に進めていく。</p>	都市建設局	道路整備課
16	<p>■ 熊本市の景観について</p> <p>これから日本全国が観光に力を入れないと財政面において厳しいと思うが、以前、国道沿いやいろんなところで電信柱を茶色く塗られた時期があった。ところが今はまた同じようにコンクリートの色になってしまった。あの時に、綺麗になったと感動したことを覚えている。森の都というくらいなので、電信柱をきちんとすれば全然雰囲気が変わるので、是非再考してほしい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>景観デザインについては、照明やサインなどの見直しを行っているところ。分かりやすさ、デザイン性の良さについても検討を始めている。色については、全体的なイメージを良くすることはプラスになると思う。</p>	都市建設局	都市整備景観課



No.	ご意見	回答	局	担当課
17	<p>■市電の延伸による影響について</p> <p>市電の延伸について、熊本第二高校と東町中学校、健軍東小学校の間を通るとのことだが、そこは子どもたちの通学路なので、そこに市電が通るとどうなるのか不安に思っている。児童や生徒への配慮をどう考えているか。</p> <p>また、市民病院が令和元年10月に開院することを考えれば、市電が通った方が交通渋滞がなくなると思うので延伸には賛成するが、延伸するまでは結局病院には車で行くしかなく、朝早くから車が集中してしまうことになる。その場合、子どもたちの登下校の心配や、周辺に住んでいる人が車で移動するときに家から出ることができるのかの心配もある。バス等、交通への配慮をどう考えているのか。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>交通安全対策については市電延伸を検討する中で十分配慮していく。子どもたちだけでなく、市民の皆さんが通行するときに事故にあわないような安全対策を検討しており、このことは市電延伸の影響を説明する中で、しっかりご意見を伺いながら進めていきたい。</p> <p>また、市民病院が今年10月に開院するが、当然それまでに延伸は間に合わない。議会からは、慎重に市民の皆さんの意見を聞いて進めていくよう意見をいただいているところ。できるだけ早く延伸したいが、最短で7～8年かかるので、バス路線のことについても検討している。</p> <p>〔政策局長〕</p> <p>新市民病院については、産交バスと都市バスが近所を通っているため、その一部については市民病院の中まで乗り入れるようにして患者さんの利便性を上げるようにバス会社と調整しているところ。</p> <p>道路については、混雑を避けるために南側を片側4車線にしたり、信号設置をすることで渋滞や交通事故等の対策をとっている。</p> <p>〔市長〕</p> <p>今説明したようなことが市民の皆さんに周知されているかいないかで安全性が大きく変わってくる。特に地域の皆さんには、区役所やまちづくりセンターからも、こういうふうな路線バスが運行されるとか、道路や交差点が改良されたから気を付けてなど、安全面には十分配慮していくということを説明させていただく。</p>	<p>都市建設局</p> <p>病院局</p> <p>市民局</p>	<p>交通政策課</p> <p>新病院開設課</p> <p>地域政策課</p>